

【小項目評価基準】

評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。 評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。
 評価4・・・年度計画を上回って実施している。 評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。
 評価3・・・年度計画を順調に実施している。

参考資料5

令和元年度業務実績報告における各小項目の自己評価結果一覧

大項目	小項目	ウエイト	自己評価結果		元年度業務実績における自己評価の内容（※評価3については記載省略）	
			元年度	(参考) 30年度		
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	2	3	4	
		市民病院	2	3	4	
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	2	4	4	オープンカンファレンスの回数・参加者数、退院支援計画件数以外のすべての指標で目標を上回っており、「福岡県小児等在宅医療推進事業」の拠点病院としての様々な取組、「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」への参加、「福岡県母体搬送コーディネーター事業」の中核病院としての積極的な受入などを総合的に勘案し、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。 新型コロナウイルス感染症の影響によりオープンカンファレンスの参加者数は院外参加者数が大きく減少したが、紹介率及び逆紹介率は目標を上回っており、脳卒中連携パスの使用は福岡市内の急性期病院で最多となる281件の実績となるなど、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4	4	
	(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応	2※	4	3	新型コロナウイルス感染症の流行に際して、事業継続計画(BCP)を踏まえながら、福岡市との連携のもと、疑似症患者の受け入れ体制をいち早く整えとともに、保健所や他の感染症指定医療機関と連携し、適切に対応するなど、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。	
	2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	2	3	4
市民病院			2	3	3	
(2) 情報発信		1	3	3		
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	2	4	4	意欲ある人材確保のため「インターンシップ・病院説明会」を4回開催するとともに、看護学実習生490名を受け入れるなど、当院に就職を希望する学生の確保に努めたほか、計画的な研修開催による看護職員の資質向上、ソーシャルネットワークサービスの活用による研修医等の人材確保、職員の働き方改革の推進、タイ王国への医学短期研修派遣、国際医療支援センターにおいて、異文化交流セミナーやフランス語講座の試行等を行うなど、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。 ワーク・ライフ・バランス推進委員会を中心に、職員が長く働き続けられる職場環境づくりを推進した結果、看護職員離職率が低下するとともに、看護師の特定行為に係る指定研修機関の指定を受けるなど、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4	4	
	(2) 信頼される医療の実践	こども病院	2	4	4	薬剤管理指導件数については、NICUへの薬剤師の配置など、よりリスクの高い分野での活動を重点化したことから目標を下回ったが、栄養食事指導・相談件数は目標を上回り、また、感染防止対策の強化やTeam STEPPS推進の研修会の開催(計58回)、クリニカルパスの種類の増加などを総合的に勘案し、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。 薬剤管理指導件数、栄養食事指導・相談件数において目標を上回り、また、感染症専門医を中心とした院内感染防止対策の徹底や、医療安全に関するマニュアルの改訂、クリニカルパスの使用率の高水準などを総合的に勘案し、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4	4	
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置						
1	自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	1	3	3		
2	事務部門の機能強化	1	3	3		
3	働きがいのある職場環境づくり	1	3	3		
4	法令遵守と公平性・透明性の確保	1	3	3		
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 経営基盤の強化	(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減	こども病院	2	4	4	積極的な増収対策や費用削減と併せ効率的な病院経営について検討を重ね、経営に関する3指標(総収支比率、経常収支比率、医療収支比率)すべてにおいて目標を上回っており、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。 経営に関する3指標(総収支比率、経常収支比率、医療収支比率)すべてにおいて目標を下回っており、公立病院の役割を果たすべく、高度専門医療、救急医療に継続して取り組んだが、新型コロナウイルス感染症や地域の医療環境の変化等の影響により、医療収益が減収となるなど、「年度計画を十分に実施できていない」と判断し、「2」とした。
		市民病院	2	2	3	
	(2) 投資財源の確保	1	3	3		
2 収支改善	(1) 収益確保	こども病院	2	4	4	新型コロナウイルス感染症の影響により、手術件数などいくつかの指標で目標値を若干下回ったものの、効率的な病棟運用により、新規入院患者及び1人1日当たり入院単価等は目標値を上回り、医療収益も予算を上回るなど、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。 新型コロナウイルス感染症や地域の医療環境の変化等の影響により、手術件数以外の指標で目標を下回り、医療収益も予算を下回るなど、「年度計画を十分に実施できていない」と判断し、「2」とした。
		市民病院	2	2	3	
	(2) 費用削減	2	3	3		
第4 その他業務運営に関する重点事項を達成するためとるべき措置						
1	福岡市立こども病院における医療機能の充実	こども病院	2	4	4	厚生労働省DPC公開データにおいて、川崎病センター及び先天性心疾患に係る手術症例について、成人を含む全国のDPC病院の中で症例数が4年連続で全国一位となったほか、日本で最多の実施症例数となる治験が3件となるなど、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
2	福岡市民病院における経営改善の推進	市民病院	2	3	3	

※ 新型コロナウイルス感染症対応のため、ウエイトを「1」→「2」とする。